

警城時報

創刊 昭和二年十二月二十二日
社址 石城郡平沼町
電話 一四〇
代印 石城郡平沼町
印刷 石城郡平沼町
定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料 一行十四字 第一日五字 第二日四字 第三日三字 第四日二字 第五日一字
▲日刊(祝日) 休刊

歡喜に満ちて 小名濱有志歸る

縣當局や政、民兩派に感謝する 鈴木小名濱町長談

小名濱商港問題に關し各方面へ員は交々語る。運動のため過般茶出福滞在中であつた小名濱町長鈴木、同町前縣議小野晋平、町會議員小野務平其他諸氏一行は夙夜懸念してたかなかつた該問題が昨報の如く棹尾の縣會に於て大體初期の通過を見るに至つたので二十日朝來夫々各關係筋を歴訪永く健闘の謝意を表し午後七時半着の警越線列車にて歸郷早頭歡喜に満ちた多數町民の出迎へを受け全町民歡呼の裡に歸町したが、鈴木小名濱町長以下町會議員

平製氷工場を改修し 愈々小名濱に移轉

日東製氷社長が實査 將來全く有望視さる

平製氷株式會社は創立以來既に當時報導の通りであつたが、之八年逐年發展の氣運を見つゝあがため過日東京日東製氷會社和りに最近に於ては更に事業擴張の合社社長が泉工場並に小名濱附近に迫られその前途として同會を詳細に視察した結果、小名濱社泉工場はその場所が不適當と港は將來全く有望なる港灣であると認めらるゝに至つたため過般加ると斷じ、こゝに製氷工場を設け、納専務が重役會に諮り泉工場をくる事は全く當を得たもので今小名濱町に移轉するに決した事後發展の余地充分にあるとの事

八名で十丹賭博 一網打盡に捕はる

湯本町字八仙入山炭礦長居住其他銀行は貸付け預金等百萬圓

湯本町字八仙入山炭礦長居住其他銀行は貸付け預金等百萬圓、坑夫落合喜一郎(四九)同飛田喜一郎(二八)同以降の預金、貸付けの状態を見、秋山源次郎(三九)丹子九松(二二)モロトリアムがあつてから、八)高山源重(三三)警務村警視少、預金者も銀行も貸付けに炭礦長會坑金澤武久(二八)湯本炭礦成した結果一時は減少したが町字淺貝山下典一(三七)の八名漸次預金が増加して來て十二月二十日午後十一時頃前記落合に入つてからは預金が既に四百萬圓に達してゐる。この事である。喜一郎が花札を使用中十丹と萬圓に達してゐる。この事である。稱する金銭賭博の賭博、開帳中此の状態から見ると幾分景氣が湯本駐在鳴原、阿部兩巡査に踏み込まれて捕はれた。

金融状態 石城地方の

平町は漸次寒末らしい氣分が濃行に現れた預金の貸付けは平町厚になつて來たが、各銀行に現中心にして行はれてゐるもの。はれた金庫の状態を見ると平銀で、炭礦が炭氣が出て行と警務銀行は略同様の成績で、預金は何れも三五百萬圓を突破して、ると觀測してゐるものが、貸付けは四百萬圓をこへてゐる抄くない。

た關係上之が資金調達のため何等かの方法を講ねばならぬまいと觀測されてゐる、尙同會社では來年度に於ては更に江名工場を増設に着手する模様である等着々發展の機運を示しつつある

漸やく決まる 豊間村長

豊間村長志賀安治氏満期退職に、由る村長改選は其後同村消防組頭志賀兼吉氏が野心を起して暗中飛躍を行つたため村會は再三進をはかる事とし、又新式碎氷機の設備を施し漁船に對し満足な供給をする計劃であると云ふ。之に要する費用は約三萬圓位で、同点となり年長者の故を以て志賀兼吉氏村長に就任した。

數百件に達する 川井喜好の詐欺

始末書を書くため代書人が署内に臨時開業

昨報一耶摩郡喜多方町字小田目道上生れ自稱東北廣告研究社警務局長川井喜好(二八)が有聲座の下足札、廣告を掲載するに稱し平町附近各商店から多額の金品を捲きあげて平署に捕はれたが、平署では青田刑事部長以下總掛りで嚴重取調をやつた處、平町の大小商店は悉くその被害を蒙つてゐる、即ち小額では五十圓から二三圓位、多くは十五圓内外の詐欺にかゝつたもの、その額四百五十圓に達する見込みで平署では被害者を呼び出し各個人から始末書を書かして出させてゐるが、佐々木代書人候補者は現村議たる秋山兵部氏等が始末書の認め方と依頼されを除く外全部新額で年少二十九歳切りの警務署内の一室を借り受け臨時代書事務所を張つる階級を網羅してゐる、而して依頼に應じてゐる等面白い、各候補の地盤は一大字三名の立つき出された。

小名濱商港の通過は 衷心喜びに堪へぬ

白井一郎氏談

小名濱商港の實現は些々たる地方的問題でなく直に國家の變遷事である、と前提して白井一郎氏は商港としての小名濱につき次々如く語る。
「商港としての價値は一、港灣の位置、二、地勢、三、海底地質、四、水深、五、港内の形状、六、港口開闢の適否等々の自然要素の外、七、埠部及沿岸諸方に対する交通運搬の便否、八、旅客及物品の多寡集散、九、人

山崎吉平氏 當選祝賀會

縣會議員山崎吉平氏當選祝賀會は二十日午後六時から平町二丁目大村屋旅館に開き草野七五三之助氏挨拶ののち山崎吉平氏之に答ふるあり直ちに宴に移りその間有志五分演説あり出席者六十名盛會であつた。

飲んだ後 勘定が不足

福岡縣會手那西川村生れ吉田甚八(三八)は二十日午後十時頃平町材木町飲食店仙臺屋前出で、ツ方で四圓七十錢分を飲食し二圓五十錢しか持たぬので平署に

も以上の要件中最も重要な第八の物件の多寡集散の点に於て欠くる處があるならば如何に他の要件を具備するも商港としての價値は恐らく絶無であらう、この点に於て小名濱が商港として各方面今日の決定を見た事はむしろ當然の歸結とも云ひ得やうか近き將來の商港として小名濱の今日あらゆる地方有志その他各關係者の血みごころな努力も永久に没すべからざるものがある、地方民たるもの須らくこの一事を牢記し各自自力一致して小名濱商港有終の美を濟す事に努力せねばならぬと思ふ。云々

電話賣物あり

姓名在社——御紹介は警城時報社
電話五〇二番・四〇九番に願ひます

蒲鉾 値下げ賣出し

◎御祝儀用折詰仕出し 仕候 特に勉強
◎年末年始の贈答品は箱入
藤市の鯉節を御用ひあれ
◎簡単な食事の菜は藤市の
「サツマあけ」を御試めし下さい

藤市蒲鉾店
平町二丁目(電話三〇五番)

名人手拭 特價提供

福島縣平町五丁目(電話五五八番)
吉田屋染工場
振替仙臺五三二八番
徒弟入用 十三四歳位の者四五名

お待ち兼ねの

◎特製生菓子 本日より
◎御祝儀折詰物 大勉強
◎野特製パン

是非御来店の程お願いいたします
永野キヤンデーストア
平町二丁目(電話七五五番)

牛肉犠牲提供

十七日より向ふ五日間
牛並肉
百目
に付 金二十五銭
どなた様のお口にも適ふ事請合!!!

平町停車場前(平劇場入口)
食肉の 深谷牛肉店
電話五二四番

最新滋強 ビーナズ 定價(三圓五圓
回春劑 拾圓廿圓
◎適應症(腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能
陰萎遺精、体力増進、新陳代謝等)

平町專賣所 平町五丁目角 山野邊藥局

ツルヤ商店
未歲贈答品案内
メリヤスシャツ 毛シャツ
オーバー 毛 下
チヨツキ 巻 沓

便利ナ商品券ヲ御利用願ヒマス

大評判

秋冬ノ季節ニナリ皮膚ノあれ、手足ノひびニハ効能本位ノ
皮美膏(定價十銭廿五銭)ヲ御用意トモヨク
キク御試用願マス。
製造元 福島縣平町四丁目 小野屋藥店

揃ひました
冬の洋服が
値段は二割安
乃至一割安
立襟上下 十圓位より
脊廣三組 十三圓五十銭
オーバー 六・七圓位より
其他變つたいろくんな冬
の洋服が深山揃ひました

なかや洋服店
平町二丁目
電話二〇三番

寒さに是非
毛糸 各種
手編用に防寒食用にイヨク
需用が激増してまゐりました
是非御用命を
平町三丁目

三井呉服店
電話三十八番

磐城病院
内科、外科、婦人科
小兒科、花柳病科
入院隨時 電話一四四番
平町出町本通り

松村病院
内科 専門
十二指 腸胃病
婦人病 淋病
皮膚病 専門
電話七〇一

二葉印刷所

平町字仲町
電話七三四番

田町聯合福引大賣出し

期間 十二月二十一日ヨリ 七日間
十二月二十七日マデ
お買上げ金高一圓毎に福引券進呈

景品目録

特等	最上桐筆筒
一等	上白米一俵
二等	ヒッコーマン 醬油樽
三等	メリヤス上下
四等	鹿沼ホーキ
五等	上等桐下駄

各商店大馬力をかけて良品廉價!!!
お買ひものは田町へ
田町睦會

◆堂々斯界を壓する二大名畫の提供◆
マード超特作大善劇提供 イーダフリウハモンス
泰西 負けず劣らず 全
日活京都撮影所新劇部超々特作映畫
「彼」岡田時彦主演「友人」竹内良一助演

彼をめぐる五人の女 前後篇
五八の女 妖婦梅村蓉子 女優岡田嘉子 合演夏川静江
助演者 小泉嘉輔 谷幹一 大崎史郎 妹尾松子
日活巨將大河内傳次郎一世の快絶努力篇
國定忠次旅日記三部曲の内第二

國定忠次 血笑篇 全
今日も又日は暮る、小父チャン今夜は何處で寝るの、今
夜も又辻堂かい、坊や赤城の山の見納めだよ、よ
うく見て置きな、霧晴れの朝、神々しい光りに信濃
路を逃れ行く快俠忠次の背に勘太郎は負はれて涙する病
の忠次の身も知らず笑つて居る……
十二月廿一日替り 料金値上げ 平 館 電話六六